

中山間地域元気創出若者活動支援事業に係る活動状況報告

活動状況報告

(グループ名：下関市立大学 まちづくりグループ)

活動年月日 (活動場所)	活動状況 (参加者数)
2011年6月11日 (粟野地区)	<p>粟野を知る(共生会ほたるナイトウォークと豊北探訪) 往路では木屋川水系や菊川町の案内を行ない、豊田西市で蛸ミュージアムならびに道の駅を視察。滝部の豊北町歴史民俗資料館を視察して、共生会中嶋さんと合流して粟野へ向い、限界集落の蓋の井集落を中嶋さんの解説で視察。</p> <p>旧粟野保育園では、学生たちのこれまでの取り組み解説、共生会会長重中さんの粟野の歴史と現状についてのお話し、旧保育園を活用した「野菜市」の現況についてのお話し、生産農家の最近の動向についてのお話し、買い物難民対策として10年来つづけられている「ふれあい市場」の解説を受ける。</p> <p>隊友会の大震災ボランティア活動についても、発表あり。</p> <p>水害対策として昭和40年代初めに完工した「ショートカット」を現場近くで観察、昭和の粟野暮らしについてのお話もうかがう。</p> <p>粟野浦地区の港沿いを経て、「ナイトウォーク」集合地へ向かい、住民等20数名と合流。小河内川中流部ならびに市ノ瀬地区オケ瀬で、蛸鑑賞。</p> <p>(参加者：学生5名、卒業生1名、教員1名、地元住民等20数名)</p>
2011年7月28日 (旧粟野保育園)	<p>粟野ひとづくり(夏休み子ども教室の見学と予備協議) 共生会が今年度初めて手がけることになった夏休み子ども教室への参画を強く要請されたので、同初日を見学するとともに予備協議を行なった。</p> <p>小学校の親子作業(草刈り、剪定;8/21)への参加要請も受けた。</p> <p>(参加者：学生1名、教員0名、地元住民数名)</p>
2011年8月1日 (旧粟野保育園)	<p>粟野ひとづくり(夏休み子ども教室への学生参画の具体プランを共生会と協議) 子ども教室最終回を、24日の地蔵祭りを中心に、23日から25日にかけての泊まり込み活動とし、各日のプログラム概要を協議した。</p> <p>(参加者：学生1名、教員0名、地元住民数名)</p>
2011年8月18日 (旧粟野保育園)	<p>粟野ひとづくり(夏休み子ども教室最終回の具体的プランと粟野川と共に生きよう会10周年記念行事実行委員会の検討) 23日から25日にかけての子ども教室では、学生参加あればこそ盛り上がる詳細計画を作成した。なお、併せて開催される予定であった、粟野川と共に生きよう会10周年記念行事実行委員会は中止になった。</p> <p>(参加者：学生1名、教員1名、地元住民4名)</p>
2011年8月21日 (粟野小学校)	<p>粟野ひとづくり(粟野小学校の要請により、PTA主催の校地清掃に協力) 地域の要請に応じて清掃作業に従事することとし、学生を募ったが参加希望者皆無で取り組みを中止した。</p> <p>(参加者：学生0名、教員0名、地元住民数名、小学校教員生徒30名弱)</p>

<p>2011年8月23日から 同月25日</p> <p>(旧栗野保育園)</p>	<p>栗野ひとづくり(夏休み子ども教室最終回への参画)</p> <p>7月28日を初回として開催されてきた子ども教室の平常会(火曜と木曜)でも宿題指導など学生ならではの寄与を期待されていたので、一般学生ならびに教職課程履修者のほかベンチャービジネス・サークルのコミュニティ・スクール部門にも働きかけて参加者を募ったものの、参加希望が出なかった。</p> <p>平常会に寄与できなただけに、最終回を盛り上げるべく広報を強化することによって、なんとか延べ9名の参加をまちづくりグループならびに一般学生から得た。児童の参加者は、全校生徒数25名中17名。</p> <p>(8月23日)読み聞かせ/栗野しじみ採り/球技/天体観測 テント泊 雨天のため、しじみ採り中止、天体観測も中止でパソコンとスライド使用の星座話で代替、屋内にテント設営して宿泊。</p> <p>市教委・県教委合同視察を受ける</p> <p>(8月24日)昼食作り/地蔵祭り仮装衣装製作/地蔵祭り 地蔵詣ならびに地蔵祭り参加以降は子ども会へ引き継ぐことになっていたが、児童の希望でこの日も屋内テント泊。</p> <p>(8月25日)紙芝居・人形劇の模擬/昼食づくり/お別れ会 帰路には豊北巡りを行なった。</p> <p>(23日参加者:学生 6名、教員 1名、地元住民等 6名) (24日参加者:学生 7名、教員 1名、地元住民 4名) (25日参加者:学生 4名、教員 1名、地元住民 4名)</p>
<p>2011年9月15日</p> <p>(栗野・宇賀)</p>	<p>栗野ひとづくり(夏休み子ども教室実行委員会反省会への参加)</p> <p>学生の貢献について高く評価され、子供、大人、お年寄り三世代参加する企画で継続事業とすることになった。</p> <p>ただし、参加学生のメモを募ってこの日に備えたが、メモ集約が不十分でまちづくりグループとして十分な貢献ができなかった。また、参加予定していた学生の一人が間に合わず、食事一人前を無駄にして共生会に損失を与えた。</p> <p>(参加者:学生 1名、教員 0名、地元住民 11名)</p>
<p>2011年10月13日</p> <p>(旧栗野保育園)</p>	<p>栗野を知る(共生会10周年記念行事準備会議への参加)</p> <p>日程ならびにプログラム概要の協議に参加。来賓の市長が日程が調わず、設立記念日(11月11日)行事に出席できなくなったので、プレイベントとして、8日に市長を囲む会を開催することになった。</p> <p>年度当初より記念行事の一コマとして栗野提言の実行を掲げてきたが、準備会議に向けた作業(過去2回のアンケート調査結果の分析と提言とりまとめ)は進捗しなかった。したがって、学生企画を欠いたプログラムで記念行事が行なわれることが確定した。</p> <p>(参加者:学生 1名、教員 0名、地元住民 数名)</p>
<p>2011年10月24日</p> <p>(栗野小学校)</p>	<p>川づくり・人づくり(恒例の、栗野小学生とともに行なう栗野川の浄化作戦への参加)</p> <p>木炭づくりとEM菌団子づくりで、グループ学生の参加は得られなかったが、教職課程履修者への広報が功を奏して2名の参加をえた。共生会会員の協力で、栗野解説とともに梨園など栗野探訪も実施した。</p> <p>(参加者:学生 2名、教員 1名、地元住民 5名、小学校生徒・教員 28名)</p>

2011年11月8日 (旧栗野保育園)	栗野を知る(共生会10周年記念イベント 市長を囲んで) (参加者:学生 2名、教員 1名、地元住民等 20数名)
2011年11月10日 (栗野公民館)	栗野づくり(しろうお・青のり祭実行委員会第1回) 学生や大学依存の傾向が強まったのか、類推させる発言が地元幹部から発せられたようで、前途多難を感じさせられる。4月反省会の内容確認と祭り開催日の検討が行なわれた。事前の参加者募集では手を上げる者も皆無で、教員も教授会が重なったため、大学側欠席の通告をしたが、責任感ある学生1名が出席。 (参加者:学生 1名、教員 0名、地元住民 10余名)
2011年11月11日 (旧栗野保育園)	栗野を知る(共生会10周年記念行事) (参加者:学生 3名、教員 0名、地元住民等 約30名)
2011年11月22日 (下関市立豊田図書館視聴覚室)	栗野を知る(旧4町の生活交通 意見交換会の傍聴) 旧4町公共交通システムの現況を検討する会合が開催されることになり、栗野のデマンド・タクシー問題も扱っているわれわれにとって貴重な機会になる。教員が授業で出席できないこともあって、学生の傍聴参加を募った。利用率の低下に伴って公共交通システム助成の打ち切りが懸念される状況に危機感をもった住民側と市側との意見交換が行なわれた。他地域での取り組みも参照されながら、議論が行なわれた。 (参加者:学生 2名、教員 0名、地元住民等 10数名)
2011年11月27日 (栗野小学校ならびに県道沿線)	栗野を知る・人づくり(親子マラソン、青空市) 例年のとおり、学生チームを作って、小学生チーム3、保護者チームやOB・OGチームに交ってマラソンに参加。 青空市では、模擬店やバザーの補助員として参加。恒例よりも学生参加者少なく、きつめのボランティア体験になった。 (参加者:学生 4名、教員 0名、地元住民等 親子マラソン約 50名、青空市約200名)
2011年12月3日 (栗野公民館)	栗野を知る・栗野づくり(公民館祭り) 共生会の勧めもあって、共生会10周年記念行事で栗野提言を実施できなかった代替として栗野提言をプログラム化していただけることになった。 しかしながら、事前作業は中枢メンバーの学生が体調を崩したこともあって皆目進捗を見ず、企画実施できなかった。栗野を知る機会としての活用もできなかった。 (参加者:学生 0名、教員 0名、地元住民等 不明)
2011年12月8日 (栗野公民館)	栗野づくり(しろうお・青のり祭実行委員会第2回) プログラム骨子と会場配置概要の決定。学生は、案内所機能とふるさとペアクイズを担当し、ステージイベントへの招聘団体との折衝を担うことになった。 (参加者:学生 1名、教員 1名、地元住民 10名)

2011年12月24日 (旧栗野保育園)	人づくり(冬休み子ども教室クリスマス特番の実施) 学生の参画がえられれば実施したいとの要望に応えたもの。学生がコースターづくりを指導し、ゲームを進行した。プレゼント交換も全員で準備して実施した。 (参加者:学生1名、教員1名、地元住民4名、児童8名)
2012年1月17日 (栗野公民館)	栗野づくり(しろうお・青のり祭実行委員会第3回) ステージ・イベントならびにチラシ・デザイン、模擬店出店案内、使用機材、招待客の確定。 (参加者:学生1名、教員1名、地元住民等7名)
2012年2月14日 (栗野公民館)	栗野づくり(しろうお・青のり祭実行委員会第4回) ステージ進行表、案内板掲示内容の確定。 (参加者:学生1名、教員1名、地元住民等9名)
2012年3月6日 (栗野公民館)	栗野づくり(しろうお・青のり祭実行委員会第5回) 準備状況の確認。 (参加者:学生1名、教員1名、地元住民等10名)
2012年3月10日 (栗野地区)	栗野づくり(しろうお・青のり祭会場設営) 機材の搬送やテント組み立てなど設営準備作業要員として学生数名が協力するのが常であったが、募集に応じる者はなかった。地元民の参加が例年よりも多かったことが幸いして、地元住民は寛容であった。模擬店掲示物の作成依頼を請け負った学生が作成物の配布を行ない、前日準備に貢献した。 (参加者:学生1名、教員0名、地元住民等約30名)
2012年3月11日 (郷西河川敷公園、 浦自治会館)	栗野づくり(しろうお・青のり祭当日) テント起こしの作業に従事することから始め、しろうお試食ブースの行列整理など会場案内作業に従事。ふるさとペアクイズの進行を行ない、東日本大震災義捐金の募金を担った。締めくくりの餅まき役に初めて任せられた。会場撤収作業に従事したのち、恒例の地元参加者による反省会に出席し、気づきを各自が発言した(実行委員会の反省会は4月に予定されている)。 (参加者:学生4名、教員1名、地元住民等約300名)
2012年3月30日、31日 (栗野浦)	栗野を知る(栗野の歴史を学ぶ) 予てより古老の話の聞き取りを試みてきたが、担い手不足によって中断のやむなきに至っていた。「北浦カンカン部隊」の経験者探しを試みてきたが、栗野在の2名を紹介されたので、聞き取り取材を実施することになった。当年度内に1回目を実施して、4月に2回目をそれぞれ実施することになった。 (参加者:学生未詳、教員1名、地元住民1名)
2012年4月下旬ないし 5月上旬 (栗野公民館)	栗野づくり(栗野への提言フォーラム)【今後の活動予定】 年度内に実施することができなくなったので、自治会連合会の年次総会を目途にした取り組みを行なうことになった。 (参加者:学生名、教員名、地元住民等名)